

報告日 令和7年7月25日
報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1－1. 申請団体

団体名	上北地方小学校教育研究会 情報・視聴覚部会			代表者名	石山 宏一
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	三沢市立上久保小学校	連絡先電話番号	0176-53-3903
担当者役職	校長	担当者氏名	石山 宏一	連絡先E-mail	
住所	033-0041 青森県三沢市大町一丁目3-9				

1－2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	三沢市教育委員会	連絡先部署	学校教育課		
担当者氏名	佐伯 仁	連絡先電話番号	0176-53-5111	連絡先E-mail	

1－3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	デジタル・シティズンシップ指導者養成事業
概要	児童・生徒が積極的かつ安全にデジタル技術を活用し、優れたデジタル市民になるために必要な資質・能力を養うことを目的とする。デジタル端末やインターネットなどを活用する上で、各校が抱える課題やトラブルに関する情報を共有する場を作り、デジタル・シティズンシップ教育推進のためのプログラムの企画や指導方法についてご助言をいただきたい。		
支援を求める分野	教育情報化／情報教育		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2－1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年7月22日	事前打合せ(実地)	16時00分	18時00分	
				活動時間（分）	120
2－2. 派遣場所	会場名	三沢市公会堂		最寄駅	三沢空港
	所在地	三沢市桜町1丁目6-35		最寄駅からの交通手段	バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一				
評価	大変良い				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	三沢市をはじめとする上北管内の学校のデジタル・シティズンシップ教育の状況を具体的に聞き取り、ワークショップや講演会の内容に反映させていただいた。				
アドバイザーへの要望事項	事前打ち合わせで藤村先生よりアドバイスいただいたことで、2日目の研修内容がより充実したものになった。				

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4－1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数		2人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	2			

4－2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自律的にICTを活用できる児童・生徒を育成するために、 ・デジタル・シティズンシップ教育や情報モラル教育について理解が曖昧な部分がある。 ・具体的な指導内容や指導方法について、不明な点が多々ある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	教師 ・デジタル・シティズンシップ教育や情報モラル教育についてのより深い理解 ・ワークショップによる具体的指導方法の習得 児童・生徒 ・デジタル社会で生きるための必須のスキルの習得 ・将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現に対しても適切に対応できる資質・能力の育成

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	国内外のデジタルシティズンシップの現状についても理解したうえで研修できるように、一部内容を加えることをご提案いただいた。 今日的な課題として生成AIについても急遽内容に取り入れていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	三沢市をはじめとする上北管内の実態から、講義内容やワークショップの内容を修正し、柔軟に対応していただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	事前打ち合わせのため、アンケートを実施していない。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4－4. 事業の最終的な目指す姿	・本児童生徒へのデジタルシティズンシップ教育の具体的なプログラムと実践的な指導方法について策定する。 ・デジタル・シティズン教育の年間指導計画を作成し、各小学校へ情報絵提供する。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

☐掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

令和7年度地域情報化アドバイザー派遣 事前打合

日 時

令和7年7月22日(火)16時から18時

場 所

三沢市公会堂

参加者

上北地方小学校教育研究会 情報・視聴各部会 会長 石山 宏一
事務局 川越 俊和
鳴門教育大学教員養成DX推進機構長
大学院学校教育研究科 特命教授 藤村 裕一

内容

川越(事務局) 研修会の日程・進行について確認
準備物及び配布物の最終確認 他

石山(主催者)

三沢市内及び上北地方管内の市町村のICTの活用状況やデジタル・シティズンシップ教育の取組状況、抱える課題等について説明。
※課題として、家庭へのタブレットの持ち帰りが進んでいない、
トラブルを気にして、児童生徒の活用に制限をしている学校がある、デジタル・シティズンシップ教育と情報モラル教育についての関係があまり理解されていない。また指導内容についての理解が不足している。

藤村(講師)

午前中の講演では今日的な課題として、生成AIについて内容として取り上げる。
午後にはデジタル・シティズンシップ教育についてこれまでの経緯や取組を学習してから、ワークショップの流れで進める。